月刊 かわごえ環境ネット

2016年10月号 No.120　　http://kawagoekankyo.net

2016 年 10 月 9 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

川越まつり会場クリーン活動

10 月 15 日（土）・16 日（日）「川越まつり 会場クリーン活動」実施。本川越駅北側交差点から中央通りすぐ。飛入歓迎！（詳細 10 面）

環境講演会「地球温暖化は止められるか」

11 月 5 日（土）13:30-16:00 にウェスタ川越内南公民館で開催。埼玉県・川越市の取組を私たちの行動につなげます。（詳細 11 面）

目次

コラム	私のエコ体験（4）究極のエコ暮らし体験	2-3
	川越の自然を訪ねて（47）セミで自然環境への関心を	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動（1 題）	4-5
	会員・流域の活動（3 題）	5-8
	理事会・専門委員会（4 題）	8-10
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事（7 題）	10-12
	会員・関係団体の主催・関連行事（8 団体）	13-15
	広報委員会からのおしらせ	15
	イベントカレンダー（10 月 9 日～11 月 23 日）	16

【コラム】私のエコ体験（4）究極のエコ暮らし体験

たいそうなタイトルですが、あえて表現すればこうなるのではないかと思ったのです。それは昭和 20 年から 30 年ごろまでの私の小、中学生時代、岡山の山間部農村での記憶として残っている生活で、今から思えば実になつかしく、慎ましい生活ぶりでした。もちろん「エコ暮らし」等の言葉さえない時代です。

生活用水は戸数 10 軒の集落のわが家の塀の外に昔からあった井戸でまかなっています。釣瓶で汲み上げる方式で、一年中ほぼ同じ水温ですので夏は冷たく、冬は暖かく感じます。冷蔵庫はありませんから、夏はバケツに汲んだ井戸水にスイカやトマトを入れておくとほどよく冷えておいしく食べられ、冬は汲み置きの水は冷たいので井戸まで足を運んで顔を洗います。風呂水は釣瓶で汲み揚げて水たごに入れ、天びん棒で担いで家まで運びますが、いつのころか井戸に近い家では戸別に電動ポンプで汲み揚げるようになりました。この井戸は上下水道が整備された今も残っており、何時でも使える状態に管理されています。

食べるものは地産地消どころか自足自給に近いもので、水田では米と裏作に麦、菜種を、畔には豆（大豆）を作付します。長男に生まれたこともあり、農作業は子供のころから慣れ親しんできました。もちろん野菜類は全て自給していました。一時はサトウキビを栽培しており、発動機で回すローラーを通して搾汁した液を煮詰めて砂糖にします。甘いものの乏しい時代でしたから、蔵の中に大きな樽に入れて保管してある砂糖をこっそり舐めるのが楽しみでした。菜種は油と交換し、大豆は煮豆にするか味噌作りに使っていました。これは多分違法行為だったのでしょうが、タバコが手に入りにくい時代は山間の人目に付かない畑では煙草も作付け、葉を屋根裏部屋で乾燥して刻み、紙巻きタバコも自給していました。酒が好きであった祖父は濁酒（ドブロク）を作り、毎晩のように晩酌していました。生活物資が不足している時代の農村では、これくらいのことは村の駐在さんを含めてお互いに知らない顔で済ませる知恵が働いていたと思います。いつのころからか日本社会は寛容さを失い、マスコミもネット利用の個人も不都合なことに対して徹底的に糾弾し、追い詰める風潮が定着したような気がします。それくらいはいいじゃないかという時代が懐かしいですね。

祖父と叔父は狩猟が好きであったおかげで、肉が食べたくなると犬 2 匹を連れて狩猟に出かけ、野ウサギ、キジ、ヤマドリ、ハト等を獲物にして帰るので、当時としては肉を良く食べたと思います。この時代は今のようにほしいものが何でも手に入るわけではありませんから、食生活も質素で栄養バランスは悪かったと思いますが、農家であったせいでひもじい思いは記憶にありません。

昭和 20 年代の農村はまだ電化生活は本格化しておらず、夏の涼はうちわと扇風機、冬の暖は火鉢と炭火の入ったこたつです。家は大きな軒先を備えた造りのおかげで夏日が差し込むことはなく、それほどの暑さは感じませんが冬は寒かったですね。炭も自家製で、我が家には炭に使う木が育つ山もあり、炭焼き窯も持っていました。

足回りと言えば、小学校までは 3km のアップダウンのある山間の道を歩いて通いました。自転車は便利な乗り物だと感じていたようで、早く乗り回せる歳になりたいと言う願望を持っていました。成長して中学は片道 6km、高校は 16km の道のりを雨の日も風の日も自転車で通いましたからその願いは叶えられたのです。

当時自動車と言えば私の村にはトラック 1 台と私の育った大字集落が保有する、当時としては稀有なフォード社の消防車があるだけでした。自家用車を持つ等と言うのは夢のような話で、村に 1 人だけのお医者さんでさえ馬に乗って巡回診療に来ていましたから、消防車を運転する叔父はあこがれの的でした。

いま 70 年前の生活をしてみろと言われても､快適さと便利さ、効率性に慣れた身にとっては到底無理なことでしょう。しかし一度はこのような生活を体験し、強いて不自由さを感じなかったことを思うとそのことが懐かしく、ある部分ではそれに近い生活はできるだろう、もう一度繰り返せないものかと言う途方もない願望を抱くこのごろです。歳も一緒にとバカなことを。

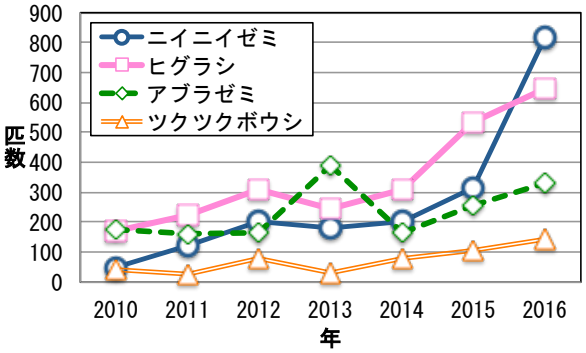
（板野徹）

【コラム】川越の自然を訪ねて（47）セミで自然環境への関心を

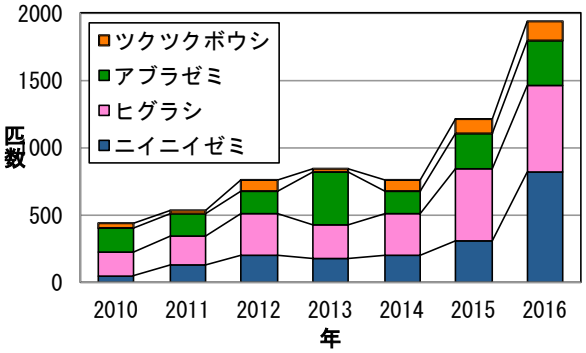
集めたセミの抜けがら

今福の林のセミの抜けがら（表）

年	ニイニイゼミ	ヒグラシ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	合計
2010	50	171	177	40	438
2011	124	224	162	27	537
2012	202	308	165	79	754
2013	179	245	390	29	843
2014	202	308	165	79	754
2015	313	532	254	107	1206
2016	817	649	333	142	1941
平均	270	348	235	72	925



今福の林のセミの抜けがら（種類別）



今福の林のセミの抜けがら（合計）

1.セミと環境について

これまでセミについて 3 回（No.72,96,110）書いてきました。目的は①伝統的な手入れの雑木林に生息するセミの種類とその数、②セミと林の環境との関係､③林でのセミの生存年数でした。セミの生息数と種類についてはわかりました。セミと林の環境についてもほぼわかってきました。

7 年間、140 時間の観察でわかったことは、①伝統的な手入れは、セミに安定した環境を提供して、ヒグラシなどの自然環境を必要とするセミの生息を保障します。②林の微妙な環境に適応してセミが棲み分けています。ヒノキが多い暗い環境にヒグラシ、明るい場所にニイニイゼミ、ヒノキの境界木に局在しているツクツクボウシ、全域に見られるアブラゼミ。抜けがらはないものの林に飛んでくるミンミンゼミ、シノ竹が多い場所にはセミの抜けがらは少ない、ことです。

2.今年のセミの特徴は

ニイニイゼミが異常に多く発生したことです。平年の 4 倍、800 匹を超えました。ヒグラシは約 2 倍で 650 匹でした。これまでの結果を総合すると、約 1 万 m^2 にセミの環境容量は、ニイニイゼミ 800、ヒグラシ 650、アブラゼミ 400、ツクツクボウシ 150 となりました（今後の調査で変わるかも)｡今年のセミの発生状況から全くわからなくなりました。残された課題は、林の自然環境中でのセミの生存年数です。どのような方法で調べることができるのか、他の文献を調べる必要性が出てきました。

3.市民に関心を持ってもらうために

セミは①抜けがらで簡単に同定できる、②身

近にあり誰でも簡単に観察できる、③セミは数年地下に生息するので長期間にわたる環境の変化が知れる、④抜けがらはセミを採集しないので生態系への影響はほとんどない、⑤環境との関係が分かりやすい、などで身近な自然を調べる指標となりえます。

この特徴を生かして市内にどのような環境に、どの種類のセミが分布するのか調べることができると、セミを手始めとして、生きものの多様性に関心を持っていただけると思います。気軽に簡単にできる市民参加の調査でひとつの手段となるのかもしれません。

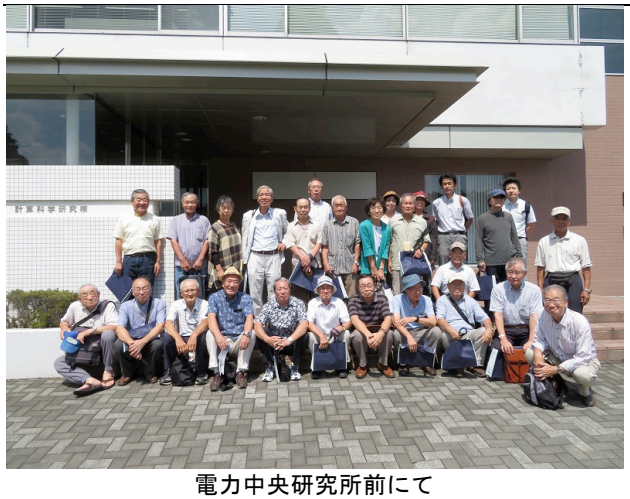
暗い土の中で栄養の乏しい木の根に依存して数年後に地上に現れて短い生活を“謳歌”するように見えるセミとその壮大なガマンに思いをはせて見たいと思います。

（福原水と緑の会　過）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

平成 28 年度環境施設視察研修会について

社会環境部会



電力中央研究所前にて

社会環境部会が企画した今年の環境施設視察研修会は、9 月 2 日（金）会員及びその家族、社員等 27 名の参加の下に実施しました。

午前 8 時にウェスタ川越前を貸切バスで出発し、最初の視察先である千葉県我孫子市内の（公財）電力中央研究所環境科学研究所に到着、担当の方の説明及びビデオにより研究所の成り立ちや周辺の概要、研究内容の紹介をいただきました。ここ我孫子市には湖沼の水質ワーストワンであった手賀沼があり、現在は上流から利根川の水を引き入れて下流に放流しているので改善されたものの、周辺の住宅排水によりまだワースト 5 の位置にあるそうです。

また市内には白樺派等の文人の住居が複数あり記念館等として保存されているほか、山階鳥類研究所があって鳥に関するイベントも開催されています。

電力中央研究所は 1951（昭和 26）年に電力各社の寄付金を基本財産として設立され、電気事業に必要な研究、技術開発を通じて社会の発展に貢献してきています。研究員は約 690 名を擁し、年間約 1,330 の研究論文を発表しています。ここ我孫子エリアは 1957（昭和 32）年に農業電力研究所としてスタートしたもので、研究員は約 200 名、広さは東京ドームの 3.6 倍で、緑地も多いことから我孫子市の広域災害避難所として指定されているとのことです。引き続き担当の方の説明を受けながら 4 つの研究施設を見学しました。

まず、水生生物飼育室では「カワヒバリガイ」の生態研究の状況を説明いただきました。

この外来の淡水貝は繁殖力が旺盛で、水路の壁面やパイプにびっしりと取り付いて通水の障害となるやっかいものだそうです。次の植物栽培温室では、様々な波長の LED 電光の下での植物の成長、品質差等を研究しており、この時期はトマトを用いた研究が進められていました。本来の農業生産は自然の太陽光の下で展開されるものですが、余剰電力を活用した施設栽培は害虫にも食べられず、たっぷり光を浴びておいしい作物ができる条件も生まれるのかなあと思いました。3 つ目はライシメーターを使った実験施設で、発電所の石炭灰を使用した数タイプの人工土層を造成し、水分の蒸発や地中での水

の動き等を観察していました。若いころに畑地潅漑計画を立てるときの要水量調査で世話になった施設で懐かしく感じました。最後は乱流輸送モデリング風洞と言う大規模な施設で、聞きなれない言葉ですが様々な地形や建物群の下で、煙突から排出された煙や砂塵等が気流の具合によってどのように動くのか画面に表示されます。たぶん 5 年前の原発事故の際にも活躍したのかなと言う想いで見ていました。

これらはいずれも一般見学者のために公開されている写真撮影自由の施設であり、研究所の中には非公開の重要な研究施設も多くあるのだろうと思います。

参加者からは多くの質問が出され、予定時刻を 20 分遅れて研究所を後にしました。ていねいに説明、対応をいただいた担当の方には心からお礼申し上げます。

常磐道守谷 SA で昼食を採り、2 番目の見学先の土浦市にある日立セメント（株）神立資源リサイクルセンターに向かいました。この施設は生ごみをメタン発酵によりバイオガス化し、不要物の焼却用熱源として利用するシステムを採用しています。ここでは土浦市環境衛生課の担当の方から土浦市のごみ排出と処理の状況を、工場の役員の方から施設の運営について説明をいただきました。

土浦市では 2010（平成 22）年に「土浦市バイオマスタウン構想」を策定し、2012（平成 24）年の神立資源リサイクルセンターの稼働に伴い、それまでほとんど焼却されていた生ごみをメタン発酵によるバイオガス化及び堆肥化に着手、2015（平成 27）年に全市域を対象に実施しています。これを可能とするには資源化可能な生ごみをしゅん別することが不可欠で、他のごみとは異なる専用の黄色い袋で回収しています。市民へは時間をかけてていねいな啓発説明を行い、モデル事業地域を段階的に拡大してきました。これにより土浦市の生ごみの資源化率は同年には 21.7%に向上しています。

驚くことに、この施設には土浦市の生ごみのほかに、賞味期限が近付いた各種の食品が段ボール箱未開封のままで多数持ち込まれ、メタン発酵や焼却処分にされています。改めて食品ロスの課題について考えさせられ、またごみ処理の分野にセメント会社が活動していることに感心させられました。

ご多用の中を施設まで説明に出向いて来ていただいた土浦市の担当の方、施設の説明及びご案内をいただいた日立セメントの方に心からお礼申し上げます。

参加したみなさんには暑い中でお疲れさまでした。　　（社会環境部会代表　板野徹）

【報告】会員・流域の活動

～作りました♪癒されました～　かわごえ里山イニシアチブ

マコモ細工の指導をする谷道輝夫さん

マコモ細工を楽しむ参加者

みごとに出来上がった馬と牛

かわごえ里山イニシアチブでは、8 月 7 日（日）に『生きもの育む田んぼプロジェクト』の田んぼのマコモの葉を使い、お盆の馬、牛、御座を作るワークショップを行いました。古来より神事ごとに使われてきたマコモの葉は、お盆以外にも神社のしめ縄にも使われています。

最初に当会でマコモ栽培を担当するマコモ先生こと谷道輝夫さんが、日本のお盆についてとマコモでのお盆道具作りの説明をしました。

かつて日本ではお盆と七夕はとてもつながりが深い行事だったそうです。

七夕は中国で女の子の技能や芸事の上達を祈願する行事でした。その行事が奈良時代に日本に伝わってきた際に日本の先祖崇拝と結びついたのではと考えられており、日本では現在の「迎え盆」のように、祭壇を作り、お供え物や笹などを飾って御先祖様の霊を迎える日になったそうです。

同時にお盆を迎える前の禊ぎ（みそぎ）の日でもあり、旧暦の 7 月 6 日に村から選ばれた乙女が、この時期に訪れる神様を祀るために水辺の機屋（はたや）に篭り、神様に捧げる布を織り捧げました。この行事や選ばれた乙女は棚機津女（たなばたつめ）と呼ばれていました。

しかしその後、明治維新で 旧暦の代わり 新暦（太陽暦）が用いられるようになり、旧暦で「迎え盆」であった 7 月 7 日（新暦では 8 月 7 日にあたる）であった七夕は、新暦の 7 月 7 日に変更されます。

こうして七夕が早まったのに対し、お盆は新暦の 8 月にと後ろに移動され、結果として七夕とお盆は切り離されてしまったそうです。ご存知でしたか?

さて、お話の後はいよいよお道具作り実践です。御先祖様を一刻も早くお連れできるようにお迎えは馬のお役目です。しっぽを長く早く走れるようスラッと作ります。お迎えした御先祖様と一緒に楽しい時間を過ごすための場である御座はマコモ先生お手製の御座編み機で♪初めての簡易機織り体験。これがなかなか楽しく、マコモ以外にもこちらの機織り機で色々織りたい～ということでこの編み機が欲しいという声が続出しました。お帰りを担当する牛は御先祖様へのお土産を俵にして沢山担がせます。そして来年までのお別れを惜しむ如くゆっくりお送りします。

大量のマコモの葉で会場の和室はイグサとレモングラスを混ぜたようなやさしい香りでとても癒されました。ハーバルセラピストとしてはこの香がとても気に入り、マコモ葉を蒸留して精油や蒸留水を作ってみたい！と思いました。

相模原や千葉など遠くからはるばるご参加の方もいらして終了後のランチで交流も深まり、楽しい時間でした。暑い中、どうもありがとうございました。皆様、素敵なお盆をお過ごしいただけたでしょうか。

今後は稲藁の代わりにマコモの葉で納豆やお正月飾り作りをしたいね！と言っています。ご一緒に日本の四季折々の行事を楽しみませんか？　（柏井喜代恵）

「第 3 回川の景観づくり講演会」9 月 1 日にウェスタ川越で開催

岡田教授の景観について

熱心に各団の発表を聞く参会者

岡田・松尾氏を加えた討論

「第 3 回川の景観づくり講演会」が、9 月 1 日（木）13:30 から、ウェスタ川越 2 階の男女共同参画研修室で開かれました。この事業は、2008（平成 20）年に埼玉県の県土企画室が「新河岸川広域景観づくり」で川越市から和光市までの「まちづくりの連携」を図った画期的な企

画でした。流域の市民団体による美化清掃活動はもとより、市民に親しまれる「新河岸川サイクリングマップ」などを作成、その後は関係市民団体が連絡会を作り、自主的な運営を図ってきました。

一昨年から、埼玉県景観審議会副会長の岡田日本大学理工学部教授を講師に、新河岸川の和光市から志木市までの中・下流域の景観視察をもとに第 1 回の講演会を朝霞市で開きました。昨年は、一級河川新河岸川の起点である川越市の野田町からふじみ野市までの上流部分を関係者と視察し、ウェスタ川越で「景観の視点でのまちづくり講演会」を開きました。

今回は、そのまとめとして「新河岸川を中心とした、人にやさしいまちづくり」と題し、18 ページに及ぶ写真や地図などの資料を基に説明がありました。電車の窓から見える「川の姿」、川を挟んだ「行政境」がもたらす「景観問題」、「遊歩道」の工夫で「回遊式景観づくり」のいくつかの事例が披露され、関係者も「眼からうろこ」の感を新たにしました。

1 時間余りの講演の後、流域市民 4 団体の活動報告がありました。トップは「舟運・ふじみの郷」の活動を牽引している川口さんが発表しました。養老橋を中心に「水辺再生 100 プラン事業」の後に、県土整備事務所や市役所、市民団体を巻き込んだ組織をつくり、幅広い活動を展開している姿が紹介されました。川を中心に、周辺の史跡や湧水の自然を生かした整備活動、美化活動には毎回 100 人を超す市民の参加があるとの報告に、参会者も感心していました。

続いて「和光自然環境を守る会」の峯岸さんの、越戸川を中心に新河岸川の合流点までの「川づくり活動」の紹介がありました。昔の鋼矢板の護岸横でのごみ拾いから、多自然護岸に変わった現在の姿に、市民活動の成果が表れていました。

3 番目は、朝霞市の「わくわく新河岸川みどりの会」の山本さんから、昔は「産業廃棄物の捨て場」だった黒目川と新河岸川の合流地域の再生活動が紹介されました。湧水を生かした「ほたるの里」や回遊路、つどいの広場など、団体の名前のような「市民のわくわく感」が伝わる活動報告に拍手がおこりました。

最後に、地元川越市のかわごえ環境ネットの活動紹介を武田が行いました。46 年前に「新河岸川上流公害防止推進会」が発足、16 年後に「新河岸川を守る会」と続く活動を紹介、これに加えて環境市民団体が集まり、現在の「かわごえ環境ネット」を結成、行政との「協働」で環境の諸活動を続けている状況を報告しました。

その後、岡田講師、4 団体の発表者に加えて、埼玉県郷土史家の松尾鉄城さんがパネリストとして参加、参会者とともに意見交換を図りました。景観とともに歴史的な視点も加えて、県民に親しまれる「新河岸川の川づくり」への熱気を高め、4 時間近い充実した会を終えました。

（武田侃蔵）

「昭和の街」のツアー&ワークショップ、なつかし写真館

東洋大学地域活性化研究所（小瀬研究室）

3 年目の開催となった 9 月 10 日（土）の「昭和の街の感謝祭」に協力する形で「昭和の街」のツアー&ワークショップと「なつかし写真館」を会場内で開催しました。また、10 月 2 日（日）の「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」においても同様のイベントを開催しました。

川越といえば昔から「小江戸」と呼ばれているように江戸の文化や町並みが息づく街として有名ですが、長らく商業や娯楽の中心として栄えた蓮馨寺門前の町並みにおいて、1933（昭和 8)年の中央通りの開通に伴う市街地の拡張によって、昭和初期のモダンな建物が立ち並ぶ町並みが誕生しました。このエリアを「昭和の街」と称し、町並みを保全しながら活性化を図ろう

としているエリア内の 3 つの商店会で構成される「川越中央通り「昭和の街」を楽しく賑やかなまちにする会」が活動を行っています。

東洋大学地域活性化研究所では、町並みの魅力を発見し、情報を共有することで、80 年以上が経過した町並み保全の機運を高め、街の活性化に協力しようと活動しています。

ツアー&ワークショップでは、9 月 10 日（土）においては東西の立門前通りに 5 名、南北の中央通りに 13 名が参加してツアーを実施し、参加者が魅力的だと思った 3 点を Instagram に投稿してハッシュタグ（#昭和の街の感謝祭）で情報を共有しました。また、10 月 2 日（日）においては 8 名が参加し、立門前通り、大正浪漫夢通り、中央通りを巡回するルートを設定し、大正浪漫夢通りの昭和の街より古い町並みと対比しながら「#アースデイ川越」で同様に 3 枚の写真を投稿してもらいました。

「なつかし写真館」では、大正期の蓮馨寺から最近までの写真と定点比較写真を掲示して、この町並みに関する思い出や感想などを模造紙に自由に記入、9 月 10 日では 23 名、10 月 2 日では 29 名の方々に参加していただきました。

この行事に先立ってさまざまな資料を閲覧しましたが、昭和の初期に作られた蓮馨寺門前の町並みが、相当力を入れて作られたのではないかということがわかり、改めてこの町並みの潜在的な魅力を実感した次第です。

自然環境や生活における環境配慮を中心に活動してきているかわごえ環境ネットですが、第三次川越市環境基本計画には大施策に「歴史と文化を生かした地域づくり」があります。かわごえの環境の特徴として、自然環境も都市環境も古いものを大切にして生かすことをみんなで考えてみませんか。　（小瀬博之）

9 月 10 日の「昭和の街」ツアー

9 月 10 日川越名店街の電照看板発見

9 月 10 日「昭和の街」なつかし写真館

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

第 6 回理事会が 9 月 28 日（水）14:40-16:10 に出席理事 10 名（＋委任 3 名）にて、それに先立ち第 6 回事業運営委員会が同日 13:00-14:30 に出席者 7 名にて、どちらも川越市役所 3A 会議室において開催されました。主な内容は次のとおりです。

①2 月 25 日（土）に開催されるかわごえ環境フォーラムについて、会場・機器の確認、スケジュールの確認、環境活動報告及び協賛募集等の実施内容・様式・時期を定めました。

②川越まつり会場クリーン活動について、スケジュール等の確認と参加者へ飲料を配布するための協力依頼がありました。

③新たな川越市環境行動計画の作成について、現在の進捗と今後のスケジュールについての確認がありました。

④歳末まち美化活動は、12 月 23 日（金・祝）に実施し、11 月 25 日発行の「広報川越」への参加者募集原稿の掲載を依頼しました。

⑤北公民館かんきょう祭り実行委員会からの第 16 回北公民館かんきょう祭り 2016 の後援申請を承認しました。

⑥かわごえ里山イニシアチブからの「第 2 回田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト全国集会 in 川越」の後援申請を承認しました。

⑦民間団体 1 名、個人 1 名の入会があり、現在の会員数は個人 116、民間団体 29、事業者 24、行政 1 の計 170 会員となりました。（小瀬博之）

社会環境部会

社会環境部会 9 月定例会は 9 月 9 日（金）福田ビル 3 階会議室において 8 名出席のもとに開催されました。

1.報告事項

①9 月 1 日（木）第 3 回川の景観づくり講演会は、予定通りウェスタ川越において 42 名参加のもと終了しました。

②9 月 2 日（金）環境施設視察研修会は、参加者27名(うち女性4名)のもとに終了しました。感想と今後の研修会の在り方について意見交換をしました。なお、板野代表から今回の会計報告がありました。

2.協議事項

①10 月 2 日（日）2016 アースデイ・イン・川越立門前の準備としてパネルの搬入予定を 9 月 30 日（金）に考えている。5～6 名の人手が必要との話がありましたが、詳細決定は 9 月 13 日(火)以降になるため、決まり次第、お知らせすることとしました。

②10 月 15 日（土）・16 日（日）の川越まつりクリーン活動の件、実施体制、参加手続き、準備等、実行委員会含む要員配置についても取り決めました。

次回の部会進行は板野徹さんが担当します。

10 月号「私のエコ体験」原稿　板野さん。

（代表：板野徹・報告：渡辺利衛）

自然環境部会

9 月例会は 9 日（金）福田ビル 3 階にて 10 名の参加で開催された

1.活動報告

①　「(仮称）川越市森林公園」計画地定例活動

9:30～12:30　7/11（月）17 名参加　ツリガネニンジン区域の選択的草刈り、7/25（月）16 名参加　県民参加モニタリング調査を実施

②池辺公園定例活動　8/2（火）　7 名参加　キツネノカミソリ開花数調査(400 株弱)、9/6(火) 7 名参加　植物調査、県民参加モニタリング調査を実施

③寺尾調節池　7/20（水）生き物調査　日陰が全くないので暑かった。

④仙波河岸史跡公園 植物調査 7/27（水）　4 名参加

⑤田んぼの植物調査 7/30（土）　福田地区田んぼ　30 名参加　採集した植物を調理して食べる（本紙 9 月号報告参照)。

⑥「虫の観察会」7/31（日）「(仮称）川越市森林公園」計画地　9:00～12:00　一般参加 31 名、スタッフ 6 名　（本紙 9 月号報告参照）

⑦　キノコ学習会　8/5（金）・9/5（月）　「(仮称）川越市森林公園」計画地

以上、8 月の部会が休みだったので 2 か月分の報告があった。

2.協議事項

①市主催イベント協力について

「かわごえ生き物調査会」10/28（金）　ジョイフルと隣接の「(仮称）川越市森林公園」計画地にて実施。準備と当日のフィールドワークなど協力体制協議

「古谷湿地さかな観察会」11/6（日）　江遠島緑地にて実施。協力スタッフなど協議

②県民参加モニタリング調査中間報告会　10/2

4（月）参加について

③会員団体「かわごえ里山イニシアチブ」より来年 2 月開催の「ラムサールネットワーク全国大会」についての説明。本会の後援については理事会案件と確認した。

（代表：賀登環）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

9 月 7 日（水）・28 日（水）に（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会第 7 回・第 8 回を開催しました。7 日の会議では「環境に配慮した行動」の見直しと作成を行い、40 項目を作成しました。また、28 日の会議では「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」の見直しを行いました。

具体的な審議結果については、http://wiki.kawagoekankyo.net をご覧ください。

次回の 10 月 12 日（水）17:30-19:30 に開催される第 9 回委員会において「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」の「4.まちのようす」「5.市民活動のようす」を見直し、さらに「協働で取り組むべき 10 の重点プロジェクト」の見直しを行い、素案をまとめていきます。会員にオープンな会議としますので、ぜひご参加ください。多様な意見が充実した内容を生み出します。

（委員長　小瀬博之）

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事

【トピック①】川越まつり会場クリーン活動 参加者募集（10 月 15・16 日 11:00-21:00 ）

いよいよ 10 月 15 日（土）・16 日（日）に開催される「川越まつり」。本会の会員団体のクリーン&ハートフル川越が長年実施してきた活動を、今年から本会の事業として実施します。赤いハッピを着てクリーン活動に参加しませんか!!　どなたでも参加可能です。

■川越まつり会場クリーン活動の概要

・開催日：10 月 15 日（土）・16 日（日）

・集合場所：川越市中原町 1-2-11 東側地先「かわごえ環境ネット」テント

・活動時間：11:00-21:00（2 時間単位）

・活動場所：川越まつり会場と周辺（時間帯により活動場所が変わります。）

・申込先：渡辺（電話・Fax.049-242-4322）、菊地（携 080-5546-2362、E-mail: kikum.autumn@gmail.com）

※当日直接参加可能です。

・その他：活動用の赤いハッピとクリーン活動用の道具を用意しております。

【トピック②】チョウ・トンボ現地調査（安比奈親水公園で 10 月 19 日）自然環境部会

チョウ・トンボ現地調査を安比奈親水公園で　　行います

秋のチョウと山から降りてきた赤トンボを探します。チョウの専門家が採集・捕獲と見分け方をお教えいたします。なお、捕虫網はこちらで用意します。動きやすい服装でおいで下さい。

日時：10 月 19 日（水）10:00-12:00
場所：安比奈親水公園入口（駐車場そば）に集合、雨天中止。
当日の連絡は 049-232-1101 猪俣まで

【トピック③】環境講演会「地球温暖化は止められるか」（11 月 5 日）　社会環境部会

・開催日時:：11 月 5 日（土）13:30～16:00
・会場：南公民館（ウェスタ川越内）

第 1 部：講演会

・演題　「地球温暖化は止められるか」
・講師　埼玉県環境部温暖化対策課
　　主幹　鈴木智行氏

地球規模の課題となっている温暖化を止めるために国、地方自治体、企業そして私たちは何をなすべきか、また何ができるかを、豊富な情報をお持ちの行政担当の方にわかりやすくお話しをしていただきます。

第 2 部：対談（含質疑応答）

講演会に引き続き、講師と川越市環境部副部長兼環境政策課長　箕輪信一郎氏で「低炭素社会の実現に向けて」と題して対談をしていただきます。

参加申込先：かわごえ環境ネット事務局（川越市環境部環境政策課）Tel.049-224-5866

参加費は無料で、どなたでも参加し質問することができます。

多数の方の参加を期待しています。

【トピック④・後援】「第 16 回北公民館かんきょう祭り 2016」11 月 12 日（土）開催

11 月 12 日（土）9:00-15:00 に北公民館（川越市氷川町 107）において「第 16 回北公民館かんきょう祭り 2016」が開催されます。祭りを通して参加者みんなで学び合う機会をつくり、市民の環境意識の向上を図るイベントです。今年のテーマは「変えよう！私たちの生活（くらし）～もったいない 無くそう 食品ロスを～」ということで、講演会・各種展示・発表・販売等があります。詳しくは北公民館（Tel.049-222-1400, Fax.049-229-1210）に問い合わせください。

【トピック⑤】「第 15 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告の投稿・発表者募集

2017 年 2 月 25 日（土）9:30-12:00, 13:30-17:00 にウェスタ川越（午前：南公民館、午後：多目的ホール）において「第 15 回かわごえ環境フォーラム」を開催します。

各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそ

う活発になることを期待して行事を開催します。

例年実施しておりますが、フォーラム開催に先立ち、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限は 11 月 28 日（月）、レポート投稿期限は 12 月 19 日（月）です。

募集要項は、会員のみなさまには 10 月号に同封します。かわごえ環境フォーラムホームページ（http://forum.kawagoekankyo.net）にも掲載しますのでご覧ください。

会合

◆（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会（第 9 回）

日時：10 月 12 日（水）17:30-19:30

場所：川越市役所本庁舎 3 階 3A 会議室（川越市元町 1-3-1）

●社会環境部会（2016 年 10 月度）

日時：10 月 14 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2016 年 10 月度）

日時：10 月 14 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊両部会とも会員はどなたでも参加できます。

＊両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催（次回は 11 月 11 日（金）同所）

◆事業運営委員会（2016 年度第 7 回）

日時：10 月 19 日（水）13:00-14:30

場所：川越市役所分室 3 階 B 会議室

＊次回は 11 月 30 日（水）13:00-14:30 福田ビル 3 階会議室

◆理事会（2016 年度第 7 回）

日時：10 月 19 日（水）14:30-16:00

場所：川越市役所分室 3 階 B 会議室

＊次回は 11 月 30 日（水）14:30-16:00 福田ビル 3 階会議室

◆広報委員会（2016 年 11 月度）

日時：11 月 9 日（水）15:00-16:00

場所：ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー（川越市新宿町 1-17-17）

＊次回は 12 月 7 日（水）11:30-12:30 同所

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：10 月 10 日・24 日、11 月 14 日・28 日（月）9:30-12:30

集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日）

日時： 11 月 1 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★チョウ・トンボの調査（トピック②）

日時：10 月 19 日（水）10:00-12:00

場所：安比奈親水公園（川越市安比奈新田 140-1 地先）入口（駐車場そば）に集合、雨天中止。

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）

◎かわごえ生き物調査会

日時：10 月 28 日（金）9:00-12:00

場所：（仮称）川越市森林公園計画地（今福）

申込：10 月 5 日（水）10:00 から電話（環境政策課 049-224-5866）

（仮称）川越市森林公園計画地内において、

川越に生息する生き物を調査します（参加費無料)。当日は、野外活動が行える服装（長袖、長ズボンなど）で、タオル、筆記用具、飲み物をご持参の上ご来場ください（雨天時講義のみ実施)。

◎古谷湿地さかな観察会

日時：11 月 6 日（日）9:30-15:00

場所：江遠島緑地（古谷上）

申込：10 月 6 日（木）9:00 から電話（環境政策課 049-224-5866）

江遠島緑地内の麦生川において、ペットボトルのわなを仕掛け､捕まえた魚を観察します(小学校3～6年生の親子30名を対象､参加費無料)。当日は、野外活動が行える服装（長袖、長ズボンなど)、持ち物は空のペットボトル（2 リットル）2 個程度、カッター、ビニール袋、飲み物、昼食、タオル、長靴等。なお、前日までもしくは当日が雨天等の荒天の場合は、川の増水等が考えられますので中止とさせていただきます。

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会（当会主催）

日時：10 月 23 日（日）10:20-15:00 ごろ

国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町山田 1920）南口休憩所集合解散、雨天決行。入園料要、参加費（200 円)、昼食持参（園内レストランもあります)、雨具持参

森林公園でセンブリの可憐な花との出会いを楽しみます。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：10 月 8 日（土）9:30-12:30 ごろ

11 月 12 日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2016 年度予定表

月	日	活動内容予定
10	8	大根畑の片付け
11	12	里芋の収穫 芋煮会（お椀、箸持参）
12	10	畑の片づけ
1	14	雑木林の手入れ

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel..070-5599-2623）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎収穫祭・予約米配布

日時：10 月 22 日（土）11:00-15:30

場所：川越市北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）調理室

持ち物：エプロン、ご自身で展示や販売したいもの、1 品持ち寄り（おにぎりはご用意しています）

参加費：500 円（小学生以下無料）（耕福米おにぎり、漬物、お茶込み）

お申込み：柏井喜代恵（krs236@gmail.com）

スケジュール：

11:00 受付開始、調理（おにぎり、各自持ち寄りの物準備)、12:00 食事、13:00 活動報告と今後について、13:20 フリータイム（参加者の作品展示、販売、演奏など)、14:45 参加者のかわごえ里山の活動に参加しての感想、要望、15:30 閉会、片付け

生きもの育む田んぼの野草､耕福米とマコモ、

そしてみなさんに 1 品をお持ち寄りいただき、収穫祭を行います。またご予約いただいた方の新米の予約米配布も行います。また、ご参加の方の作品展示や販売、歌や演奏などのパフォーマンスも大歓迎です。

◎例会

日時：10 月 22 日（土）16:30-18:00（収穫祭後）
場所：北部地域ふれあいセンター

無農薬の稲作りに興味のある方、生きものに興味のある方など、広く意見を求めるために会員でない方の参加も歓迎します。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：10 月 20 日（木）・11 月 1 日（火）・17 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：10 月 9 日・11 月 13 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：10 月 22 日・11 月 26 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①10 月 23 日（日）9:00-11:00

新河岸川上流、赤間川公園横集合。氷川橋まで遊歩道など清掃。北公民館で解散。

②11 月 27 日（日）9:00-11:00

「新河岸川広域景観づくり連絡会」との「流域一斉清掃活動」の一環として、中流から養老橋まで、広く堤防中心に清掃。自治会等の参加も歓迎。場所等参加希望者と調整して 11 月 15 日決定して通知。

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊、ライトアッププロジェクトチーム）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: komorebisatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-239-1532）

定常的に参加していただける方、ご近所の方、大歓迎です。初めての方もぜひご参加ください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時：10 月 9 日（日）・10 月 22 日（土）・11 月 12 日（土）・11 月 26 日（土）8:30 集合-12:00、12:45-15:00（解散 16:00）（荒天中止）
集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）
費用：無料
内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り、伐採、施業のための樹木調査など。
持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）
申込・問い合わせ：開催日 2 日前までにご連絡
＊開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）
＊中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（https://twitter.com/toyokomorebi/）
＊報告 Facebook（https://www.facebook.com/komorebisatoyama/）

◎東洋大学大学祭「こもれび祭」出店・出展

日時：11 月 5 日（土）・6 日（日）10:00-17:00 ごろ
場所：東洋大学川越キャンパス

里山体験ツアー・木工教室を開催しています。詳しくは会場で。予約不要。直接会場へ。

◎小江戸川越ライトアップ 2016

期間：11 月 5 日（土）-12 月 25 日（日）（11 月 5 日・6 日夕方から歩行者天国予定）

場所：「川越昭和の街」周辺（11 月 5・6 日は歩行者天国エリア・蓮馨寺等に移動予定）

「あかりとの対話」として、あなたの行動に反応して光が変わるライトアップオブジェをまちなかに散りばめて設置します。

＊詳細は小江戸川越ライトアップ 2016（http://kawagoe-lightup.info）

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

◎小畔川魚類調査

日時：10 月 16 日（日）10:00-12:00

場所：鎌取橋（最下流の沈水橋）

網、ウェダーは貸し出します。気軽に参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第 2 日曜日）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ（小雨決行）。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・帽子。

参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代）

①10 月 9 日（日）10:00-12:00

沼は水を落として冬に備えます。サギの群れ、シギやチドリが各々の脚の長さに合った水深の処で餌の小魚を探します。冬鳥の先発隊コガモが飛来するころです。

②11 月 13 日（日）10:00-12:00

いよいよカモたちの季節になります。日本にやってきたばかり、今の時期は雄と雌また種類も、同じような羽の色をしているので見分けが難しいのです。それを見分けるのが、また楽しいのです。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016 年 11 月号（No.121，10 月末～11 月上旬発行）の掲載原稿は、10 月 15 日（土）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●【速報】かわごえ里山イニシアチブのプロジェクトが国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）認定連携事業（第 9 弾）に認定

「国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）」では、愛知目標の達成に向け、各分野の参加と連携を促進するため、「にじゅうまるプロジェクト」の登録事業等の中から UNDB-J が推奨する連携事業を認定しています。その中の 1 つとして、かわごえ里山イニシアチブの「生きものを育む田んぼプロジェクト（田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト）」が認定されまれました。http://www.env.go.jp/press/103069.html

●おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（10 月 9 日～11 月 23 日）

日	月	火	水	木	金	土
10/9 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	10/10 体育の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	10/11 ○「第 15 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告投稿募集（-11/28）	10/12 ◆17:30 かわごえアジェンダ 21 作成委員会	10/13	10/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	10/15 ★11:00-21:00 川越まつり会場クリーン活動 ○11 月号投稿期限
10/16 ◎10:00 小畔川魚類調査 ★11:00-21:00 川越まつり会場クリーン活動	10/17	10/18	10/19 ★10:00 チョウ・トンボ現地調査 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	10/20 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/21	10/22 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎11:00 収穫祭・予約米配布 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:30 例会（かわごえ里山イニシアチブ）
10/23 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	10/24 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	10/25	10/26	10/27	10/28 ◎9:00 かわごえ生き物調査会	10/29
10/30	10/31	11/1 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/2	11/3 文化の日	11/4	11/5 ◎10:00 こもれび祭（こもれびの森） ★13:30 環境講演会「地球温暖化は止められるか」 ◎小江戸川越ライトアップ
11/6 ◎9:30 古谷湿地さかな観察会 ◎10:00 こもれび祭（こもれびの森） ◎小江戸川越ライトアップ	11/7 ◎小江戸川越ライトアップ（12/25 まで）	11/8	11/9 ◆15:00 広報委員会	11/10	11/11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	11/12 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ★9:00 北公民館かんきょう祭り ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
11/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	11/14 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	11/15 ○12 月号投稿期限	11/16	11/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/18	11/19
11/20	11/21	11/22	11/23 勤労感謝の日	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2016 年 10 月号 No.120

発行日　2016 年 10 月 9 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/